



皆生温泉 <http://www.kalke-onsen.com/korean/hot.html>

米子市は、日本国鳥取県の西側、山陰地方のほぼ中央に位置し、東には伯耆富士とも呼ばれる国立公園「大山」、北に「東海（日本海）」、そして西には汽水湖として日本で2番目の大きさを誇り、ラムサール条約にも登録されている「中海」という、豊かな自然に囲まれています。また、国内トライアスロンの発祥の地である海に湯の湧く「皆生温泉」、大山山麓の「良質な地下水」など豊富な自然資源を有しています。1995年10月、韓国江原道東草市と米子市は姉妹都市提携を結び、草の根の



東草市と米子市のマスコットキャラクター

ー【へオミ(東草)を囲むヨネギーズ(米子)】

友好交流を積み重ねています。この交流が進むにあたって、韓国との交通網が重要な役割を果たしており、空路では2001年4月から米子ソウル国際定期便が就航しており2016年10月からエアソウルが運航して

います。海路では、2009年6月から境港 - 東海 - ウラジオストック間をDBSクルーズフェリー一国際定期貨客船も運航しています。どちらも東草市との交流の要となっています。

#### 米子市と東草市の交流

東草市とは、職員の相互派遣交流、児童絵画交流、鳥取県西部地区日韓親善協会による東草市・米子市姉妹委員会との相互民間交流など様々な交流が進んでいます。

特にご紹介したい交流の事例として、芸能交



東草市立風物団と淀江さんご節保存会  
(2010年10月東草市立博物館交流会)



東草市立風物団と一緒に踊る出演者達  
(2012年8月とっとり伝統芸能まつり)



東草市大浦小 雪岳青少年国楽管弦楽団  
による平昌冬季オリンピック広報公演

流を取り上げたいと思います。永年にわたり、米子市指定無形民俗文化財「淀江さんこ節」の保存と継承に尽力し、地域に伝わる貴重な伝統文化の振興に多大な貢献をしてくれておられる淀江さんこ節保存会が、その代表的な団体です。

この淀江さんこ節保存会は、東草市と米子市の姉妹都市交流 15 周年を記念して、東草市の「雪岳文化祭」に文化交流団として米子市が派遣したことから始まり、2010年 2011年と 2年連続出演されました。その際、東草市立博物館に所属する東草市立風物団と伝統芸能を通して深い繋がりを持たれて現在も交流しておられます。

2010年に淀江さんこ節保存会の一員として訪韓した「米子市熊覚いきいきサロン」のみなさんは、韓服を何着も購入されて韓国の伝統踊りアリラン・トラジを習得され、地域のみなさんに披露しておられます。2011年の2度目の訪韓の際には、自身の舞踊団を率いるヤン・スキ先生に直接韓国の伝統踊りを指導してもらった

程熱心に取り組んでおられます。2012年、今度は逆に鳥取県が東草市立風物団をとっとり伝統芸能まつりに招待されました。その際、米子がいな祭という米子市を代表する祭にも参加していただき、韓国の伝統芸能を広く地域のみなさんに披露してもらいました。さらに、子どもたちへのサムルノリ体験講座を行ってもらい、淀江さんこ節保存会さんともさらに交流を深められました。

この東草市立風物団と淀江さんこ節保存会の絆から、2015年1月31日に米子市内のデパートで、平昌冬季オリンピックの広報公演が行われました。東草市大浦小学校の雪岳青少年国楽管弦楽団「アリアリ」が来日し、日本で初めて平昌冬季オリンピック広報のために韓国の伝統弦楽器によるオリンピック主題曲のモチーフになった「Fly to the sky」などを米子市民に披露して好評を得ましたし、平昌冬季オリンピックを立派に広報されました。こうやって固い絆で結ばれた両団体の交流のすそ野は、子どもたち



宇田川青少年育成会の銭太鼓  
(2015年2月 宇田川公民館)



ヤン・スキ舞踊団 雪岳の香り  
(2015年8月 米子市 万灯まつり)



雪岳文化祭で米子がいな太鼓を披露  
(2015年10月東草市)

にも広がっています。

韓国からの来日客があれば、宇田川青少年育成会の子どもたちが銭太鼓を披露して歓迎するなど、その取り組みは、淀江地域にしっかりと根付いています。

それから、2015年8月には、米子がいな祭にヤン・スキ舞踊団を招いて、万灯まつりに出演してもらい、米子市民に東草市との交流を力強くアピールしてもらいました。また、ヤン・スキ舞踊団も淀江さんこ節保存会とも交流をされ、現在も続けておられます。東草市と米子市の交流は途切れることなく、現在も続いています。行政の下支えは必要ですが、やはり真の交流は、民間同士の草の根の交流が根付いているかどうか、国際交流の真価が問われることになると日頃から努めています。

また、2015年10月の雪岳文化祭では、米子がいな太鼓保存会にがいな太鼓を披露してもらい、姉妹都市提携20周年とともに第50回雪岳文化祭にも花を添えてもらいました。

2016年2月韓国江原道江陵市で開催された「G2オリンピック祭」には、米子白鳳高校郷土芸能部が招待され、淀江さんこ節を披露されま



米子がいな祭パレード出発前の韓国学生達(2014年8月米子市役所前)



米子白鳳高校郷土芸能部員を囲む東草市職員  
(2016年2月江原道江陵市)

した。その際、東草市から50人を超える市職員の皆様が横断幕を持って応援に駆けつけてくださり、部員一同大変感激しておられました。

更に、東草市米子市姉妹委員会と鳥取県西部地区日韓親善協会の民間同志による青少年のホームステイ交互交流は、毎年行われており、近年では来日してくれた学生たちがいな祭パレードにも参加してもらうようになって、交流の輪がさらに広がってきています。

2016年7月、鳥取県西部地区日韓親善協会と東草市米子市姉妹委員会の民間交流15周年を迎え、鳥取県西部地区から訪韓団が行かれ、中学生のサッカー交流、ホームステイ、日本の伝統的なきもののショーによる文化交流など、活発な交流を進めておられます。

こういった取り組みは、両市の草の根の交流を根付かせるものであり、韓日友好交流の模範的な姉妹都市となっていると言えると考えております。末筆ではありますが、1年後に迫った平昌冬季オリンピックの成功を願っております。

(執筆：米子市、協力：クリア,ソウル)



鳥取県西部地区日韓親善協会・東草市米子市姉妹委員会の民間交流15周年着物ショー(2016年7月東草市ホテル)